

経営比較分析表（令和5年度決算）

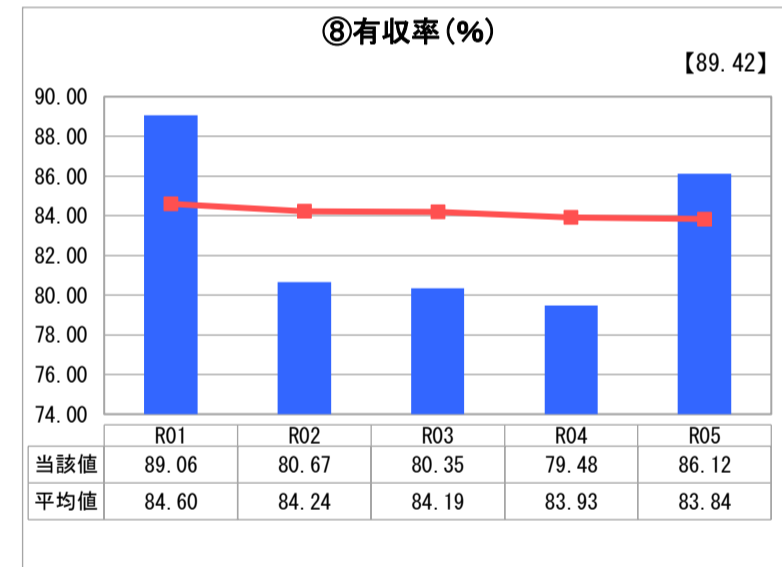
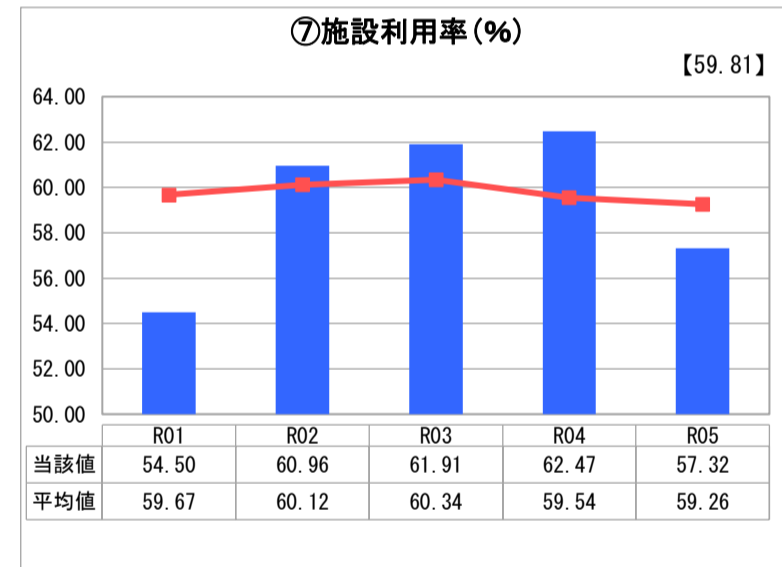
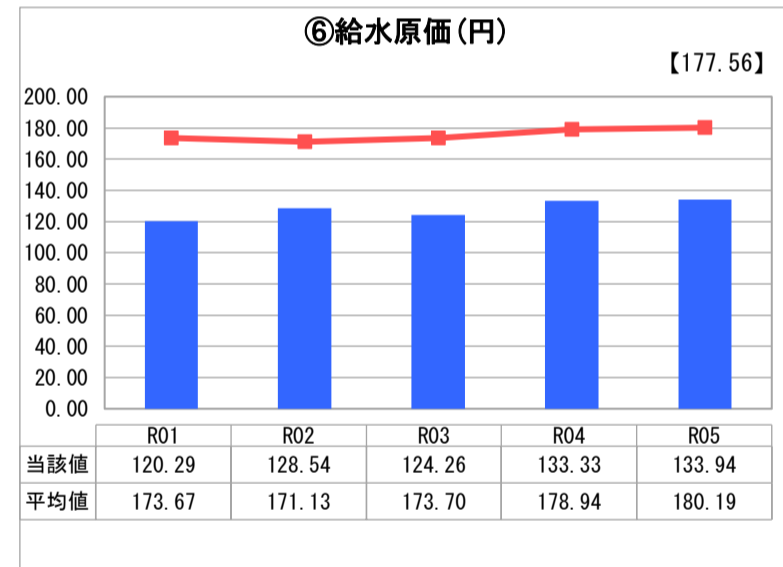
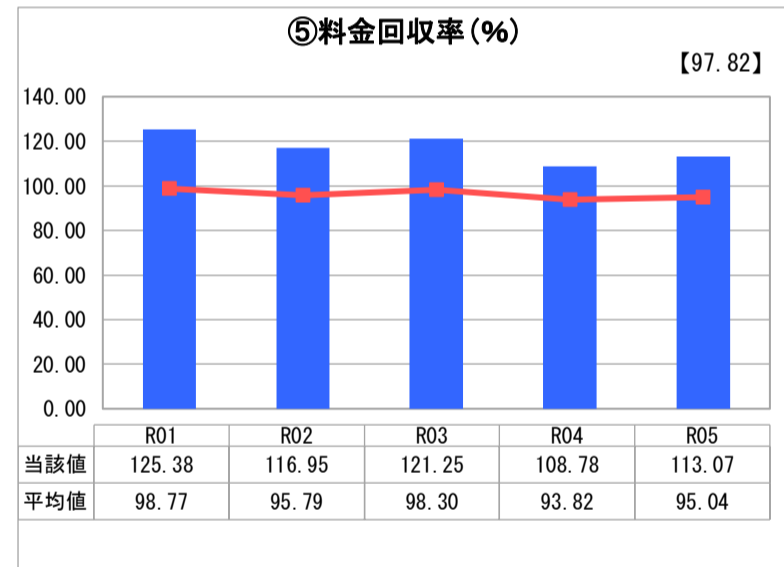
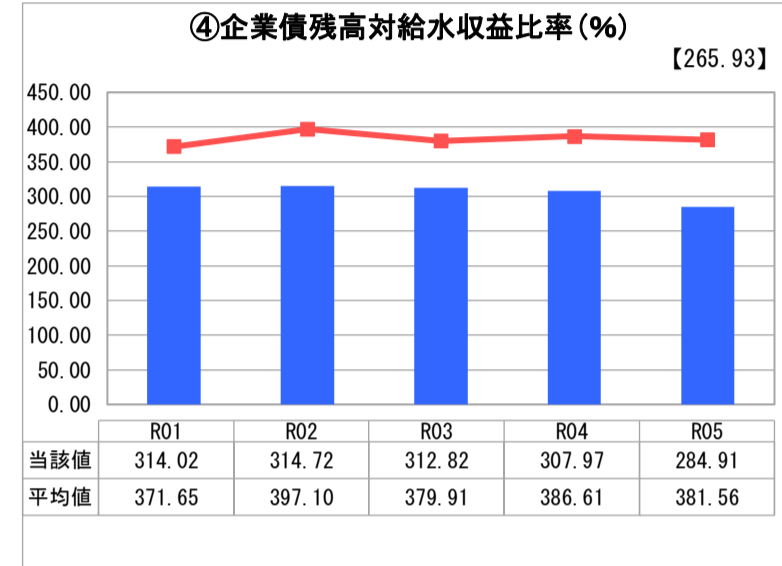
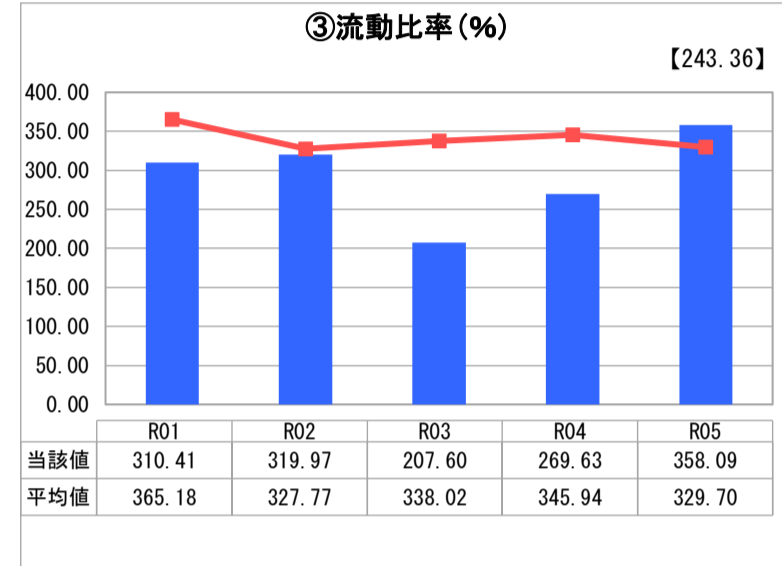
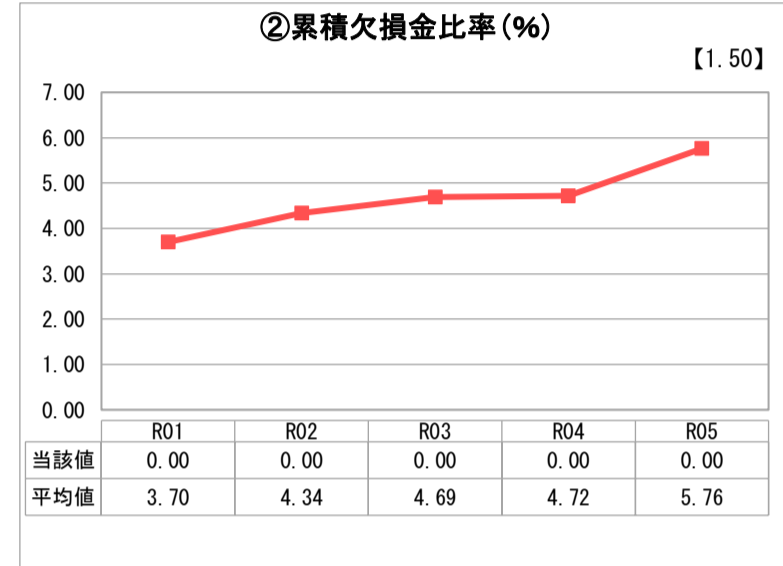
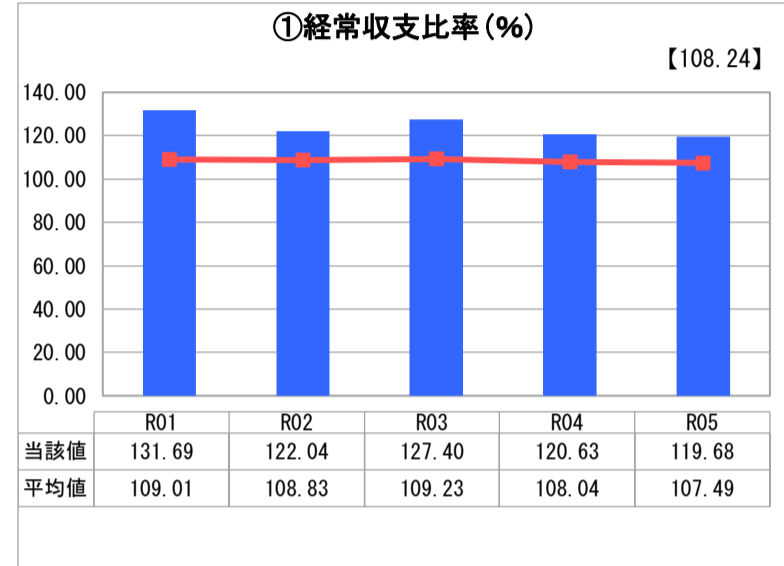
栃木県 壬生町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	76.84	98.74	3,047	

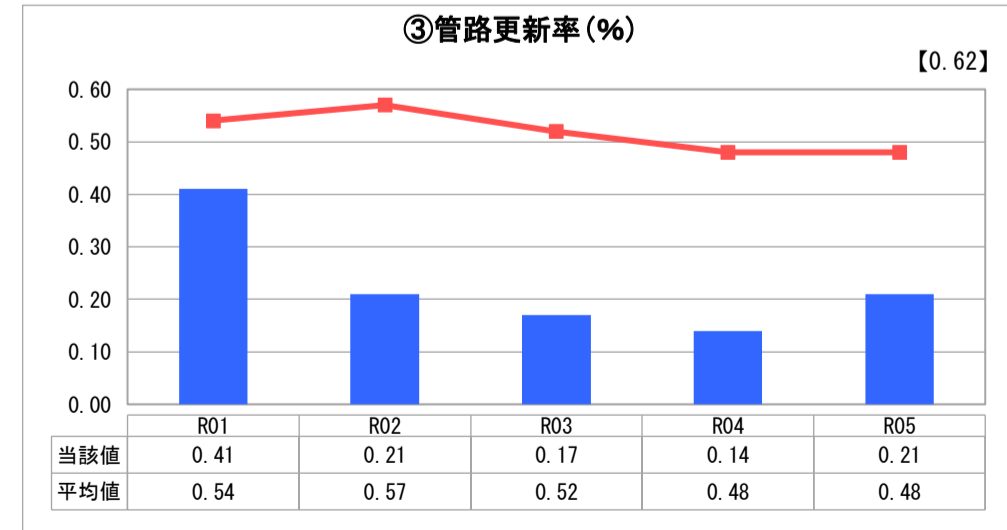
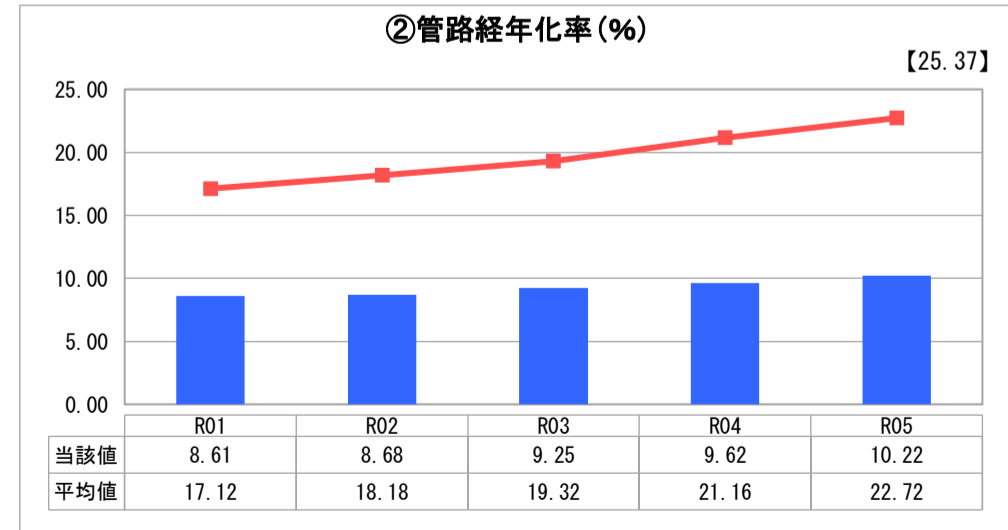
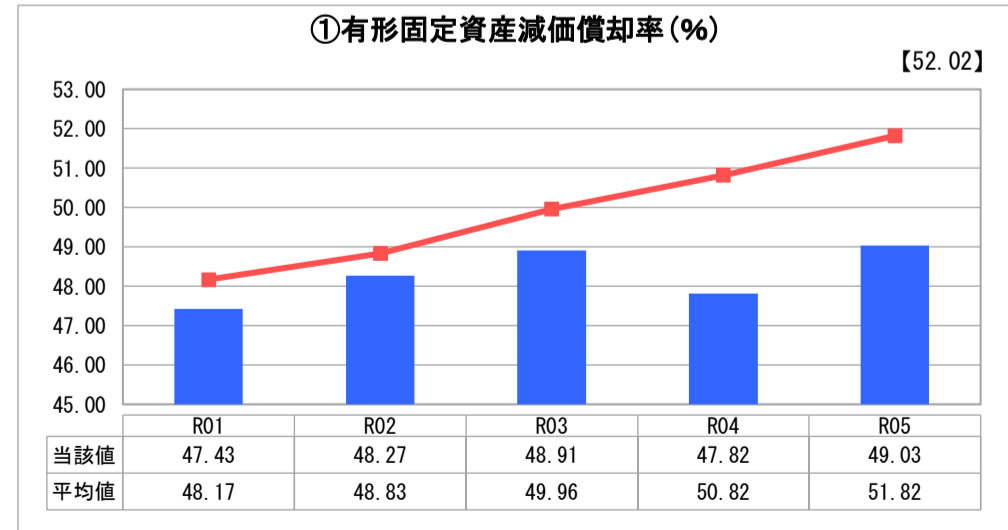
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
38,359	61.06	628.22
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
37,800	25.37	1,489.95

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「①経常収支比率」は、100%を上回っており健全経営が維持できている。

「②累積欠損金比率」は、累積欠損金が発生していないため0%が維持できている。

「③流動比率」は、類似団体平均値を上回り100%以上であることから、短期的な債務に対する支払い能力は確保されている状況である。

「④企業債残高対給水収益比率」は、前年度より減少した。

「⑤料金回収率」は、100%を上回っており健全経営が維持できている。

「⑥給水原価」は、類似団体と比べても低い水準を維持できている。

「⑦施設利用率」は、前年度より減少した。

「⑧有収率」は、漏水調査の実施や漏水箇所の早期修繕により増加し、類似団体平均値を上回る結果となった。

2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」は、類似団体平均値は下回っているが、平成29年度に策定したアセットマネジメントに基づき、引き続き適切な更新を進めていきたい。

「②管路経年化率」は、法定耐用年数を超えた管路の増加に伴い上昇しているが、類似団体平均値・全国平均値共に大幅に下回っている状況である。

「③管路更新率」は、類似団体平均値を下回っているが、大口径の基幹配水管の更新を優先して実施しているためであり、今後は中口径の管路など計画的な更新工事の実施により、上昇していく見込みである。

全体総括

経営の健全性・効率性に関する指標については、おおむね良好な数値であり、健全な経営状況であると言える。また、ここ数年減少していた有収率も、大幅に改善することができた。

水道施設の老朽化の状況については、有形固定資産減価償却率・管路経年化率は良好な数値であるが、管路更新率が若干低い数値であることから、今後の更新需要を見据えながら、計画的な老朽化対策を講じていく必要がある。

今後も「壬生町水道ビジョン」に基づき、「安全」で「強靱」な水道を「安定」して提供できるよう、計画的かつ効率的な事業運営を推進していきたい。